

生産性向上支援訓練活用事例



生産性向上支援訓練を実施した「株式会社タイセイ 小牧事業所」様の取組を紹介します。

- ・所在地 愛知県小牧市
- ・従業員数 78名
- ・事業内容 ワイヤーハーネスの製造

1. 支援の概要

●相談の契機

事業主より、上半期にて「ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」ほか2コースの訓練を実施し好評であった為、下半期にはさらにスキルアップを図るための訓練を実施したいとの要望があった。

●事業主の課題・要望

- ・サブリーダー、リーダー層が、職場の小集団活動を活発に推進できるようになること。
- ・初任層、サブリーダー、リーダーの3つの層に分けた訓練コースとしていただきたい。

●機構からの提案内容

初任層には、2Sを重視した「生産性分析と向上」、サブリーダーには、部下のモチベーションに重点を置いた「職場のリーダーに求められる統率力の向上」、リーダー層には、期待される役割を担っていただくためのミドルシニア向けのコース「効果的なOJTを実施するための指導法」「フォローシップによる組織力の向上」の受講を提案した。

また、カリキュラムのカスタマイズについては、改善につながる実務に活用でき、各受講者層のレベルに合わせた理解し易い内容のカリキュラムとした。

2. 事業主の声

愛知県小牧市の事業所ではワイヤーハーネスの製造を行っています。今までは、外部の講習を利用し社員の教育を行ってきましたが、参加者も営業や製造部のスタッフのみで、製造現場の班長や作業者の教育にはあまり積極的に取り組んでいませんでした。

そんな中、ここ数年、新卒の方の製造現場への配属も増え、また、本社からポリテクセンターの紹介もあり、教育訓練を実施する機会を得ました。事業所内での受講ができ、受講者には好評の結果でした。下期には、さらにスキルアップを図れるよう、リーダー層のメンバーは「フォロワーシップによる組織力の向上」「効果的なOJTを実施するための指導法」を受講しました。その結果、リーダー、サブリーダーとしての部下への対応、考え方も変わりました。職場の小集団活動に、全員が取り組めるよう期待しています。



事業所外観

事業主アンケートにて高い評価をいただきました。

3. 受講者の声

私たちの職場では上半期の受講で学んだ事を生かし、2Sと見える化改善を進めてきました。今、一番の課題は、検査品の良否の判断に迷う時間を減らすことです。これまではベテランの経験則に頼りがちで、新人にはあいまいで、わかりづらかったようです。

今後、検査作業の平準化・統一を進めていきたいと考えていますが、円滑に進める為には、話す・聞く事のコミュニケーションが大切だと考えています。

今までは「聞く」ことはできても「聴く」ことはできていなかったかもしれません。

今回受講したミドルシニアコースの【効果的なOJTを実施するための指導法】で学んだ「オープンクエスチョン」と「クローズドクエスチョン」のメリット・デメリットを理解した上で、相手の気持ちに寄り添い、私たちの職場の課題にメンバー全員が取り組めるように心がけたいと思います。



訓練受講の様子

受講者アンケートにて満足度の高い評価をいただきました。